

武蔵村山市第四次男女共同参画計画の令和 5 年度推進状況に対する意見（案）

○意見（案）

令和 5 年度（2023 年度）は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施・推進することができなかった事業が減少し、成果が得られている場合の評価区分である A 評価及び B 評価の割合も、その合計において前年度よりも増加しており、各事業の推進が見られます。

特に、A 評価となった事業において、ジェンダー平等やセクシュアル・マイノリティに関する意識醸成、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた施策が実施され、本計画の基本理念である「誰もが自分らしく イキイキと暮らせるまち むさしむらやま」の実現に向けた取組が着実に推進されていることがわかります。

前年度と比較しますと、10 事業の評価が上がり、6 事業の評価が下がりました。

評価の下がった事業については、新型コロナウイルス感染症の影響によるものもありますが、その要因を把握し、成果に結びつけていく取組を行うとともに、評価の上がった事業についても、更なる充実を図り、男女共同参画社会の形成を推進していただきたいと思います。

武蔵村山市第四次男女共同参画計画は、今年度末で、計画期間が満了します。来年度からは、武蔵村山市第五次男女共同参画計画に基づいて各事業を実施していくこととなりますが、これまで得られた成果や経験を生かし、男女共同参画社会の形成の更なる推進に向けて、不断の取組を進めていただきたいと思います。

（参考）

○武蔵村山市第四次男女共同参画計画の令和 4 年度推進状況に対する意見

武蔵村山市男女共同参画計画策定市民懇談会は、誰もが自分らしくイキイキと暮らせる社会の実現を目指して、男女共同参画を啓発する事業や男女共同参画に関する調査研究等を行っています。

令和 4（2022）年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画した事業を実施・推進することができなかった事業がありましたが、令和 3（2021）年度と比較すると D と E の評価は半減し、各事業の推進が見られます。

特に、市民に対するジェンダー平等やセクシュアル・マイノリティに関する意識醸成が推進され、本計画の基本理念である「誰もが自分らしく イキイキと暮らせるまち むさしむらやま」の実現に向けた取組が進んでいることがわかります。

前年度と比較しますと、17 の評価が上がり、5 つの評価が下がりました。ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた各種支援のほか、教育の場におけるハラスメントに対応する体制整備や男女共同参画の観点を踏まえた防災対策に関する取組も進んでいることが伺えます。また、国際交流・理解の推進における事業についても、積極的に推進している成果が見られることから、引き続き、計画的かつ効果的な事業の推進を図り、男女共同参画社会の実現に向かっていただきたいと思います。

一方で、各種審議会等への女性参画率は、ゆるやかに増加しているものの、未だ女性が社会において活躍できる機会や男女の意見を平等に反映できる環境が整っていない状況であることから、「女性ゼロの委員会をなくす」という新たな目標を設定するなど、意識的な環境整備に努めなければならないと考えます。